歯科会員アンケート結果から

第２回　今後の医業収入や患者確保の方策など

実施期間	2011年9月21日～30日
対　象	長野県保険医協会の歯科医開業医会員 送付数：ファクシミリ登録ありの495名
回答者数	105名（回収率21．2%）

前号に続いて県保険医協会が実施の保団連の「歯科会員アンケート」の県集計を紹介する。▽今後の医業収入、患者確保の方策、▽他院で治療のインプラントの患者の予後相談の有無、▽継承について、▽自由意見の順。（2～3面）

今後、医業収入・患者さんを増やすための方法

「今後、医業収入・患者さんを増やすための方法をどのように考えますか」との設問で(ア)から(オ)の５つの選択肢を示し回答を求めた。ただ設問では、どれかひとつの選択を求めなかったので複数回答が多く、単純集計では回答者105名に対して147件の回答となった。「経費を減らす」が過半数で「自費を増やす」がこれに続き、「保険診療を増やす」が４人に１人。

複数回答ありを含む単純集計

	件数	件数/105
(ア)保険診療を増やす	25	23.8%
(イ)自費を増やす	50	47.6%
(ウ)診療時間の延長	4	3.8%
(エ)経費を減らす	53	50.5%
(オ)その他	15	14.3%
無回答	0	0.0%
計	147	

105名の医業収入増、患者増対策の内訳

a.保険を増やす	6	5.7%
b.保険を増やす＋経費削減	9	8.6%
c.保険を増やす＋自費を増やす	6	5.7%
d.保険を増やす＋自費を増やす＋経費削減	4	3.8%
e.自費を増やす	25	23.8%
f. 自費を増やす＋経費削減	11	10.5%
g.自費を増やす＋診療時間延長	1	1.0%
h.自費を増やす＋診療時間延長＋経費削減	1	1.0%
i. 自費を増やす＋経費削減＋その他	1	1.0%
j. 自費を増やす＋その他	1	1.0%
k.経費削減	25	23.8%
l. その他	12	11.4%
m.診療時間延長	1	1.0%
m.診療時間延長＋経費削減	1	1.0%
o. 経費削減＋その他	1	1.0%
一部で略記載あり…例「経費を減らす」を「経費削減」	105	100.0%

一人ひとりがどう回答したかは、「105名の医業収入増、患者者増対策の内訳」の表の通りa～oの15区分に分かれた。

単独選択のe「自費を増やす」とj「経費を減らす（経費削減と略）」がともに23.8%でトップで並び、a「保険を増やす」は5.7%、k「その他」が11.4%、m「診時間延長」も僅かあるが、それ以外は他の項目との組み合わせになっていた。

保険か自費かで見ていくと、「保険」主体と見られるa＋bで14.3%、「保険」と「自費」を組み合わせるｃ＋ｄが9.5%、「自費」主体と見られるe～jの計が38.1%。「自費」が全てに入るc～jを集計すると過半数に近い47.6%となっている。

「その他」で記載のあった内容（12名）

▽研鑽を積みます　▽患者さんが安心して歯科医療をいけられるよう良質な医療の充実を計る　▽DMや来院患者へのちょっとしたプレゼントに力を入れる　▽腕を上げる　▽特に努力しない　▽なにもしない　▽無理だと思う　▽特になし　▽患者中心の医療を実施する　▽組織化　▽このまま　▽リフォーム

※上記12名のほかに「人件費」と記載が1名あったが、エに○印があり、その内容と判断し「その他」にはカウントしなかった。

「保険診療を増やす」と回答の25名、及び「自費を増やす」と回答の51名にそれぞれ「どの項目をお考えですか」と聞いた。

保険診療を増やす
回答者25人（複数回答あり）

	件数	件数/25
歯周病治療	19	76.0%
補綴治療	5	20.0%
在宅治療	10	40.0%
その他	3	12.0%
無回答	0	0.0%
計	37	

いずれも複数回答ありで「保険を増やす」では歯周病治療が76%と多く、在宅医療が40%で続いた。

「その他」で記載ありは１名でリコール、中断患者対策。

自費を増やす
回答者51人（複数回答あり）

	件数	件数/51
金属床義歯	22	43.1%
メタルボンド	25	49.0%
インプラント	22	43.1%
ホワイトニング	16	31.4%
予防歯科	15	29.4%
矯正	11	17.6%
その他	9	17.6%
計	120	

「自費を増やす」では、メタルボンドが約半数の49%、金属床義歯とインプラントが同じ43%台で並んだ。4番目はホワイトニングの31%だった。

「その他」で記載ありは8名で、▽ノンクラスプデンチャー（2名）▽自費義歯（バルプラスト）▽予防商品の紹介・販売▽ジルコニア▽オールセラミック▽ファイバーコアetc.▽保険外補綴物。

今後、自費は増えると思いますか（回答者51名）

	件数	%
増えると思う	15	29.4%
増えないと思う	13	25.5%
変化しない	9	17.6%
分からない	14	27.5%
計	51	100%

「自費を増やす」との回答者には、今後、自費が増えるかどうか、を聞いている。その見通しは、約３割が「増えると思う」と回答したが、4人に一人にあたる25%は「増えないと思う」と回答した。また「変化しない」も約18%あった。医業収入増・患者対策で回答者105名の約半数が「自費」をあげたが、その自費がかならずしも増えると思われてない現状がある。

他院でインプラント治療の患者からの予後相談

	件数	%
あった	25	23.8%
なかった	70	66.7%
分からない	4	3.8%
その他	2	1.9%
無回答	4	3.8%
計	105	100%

次に自費診療で行われているインプラントについて、「**最近、他医院でインプラント治療をした患者さんから予後の相談事例がありましたか**」と聞いた。

「なかった」が67%で一番多く、「あった」は24%だった。事例について記載ありは20名。

事例記載は、次の通り。

・上部構造が欠けた。
・抜歯＝インプラントを繰り返すので不安。（抜歯しなくて良かった歯を抜かれた）お金目当てでインプラントをしているのでは？
・術後の不具合、疼痛、アフターケアの不備。
・上部構造が早期に脱落したもの。
・ブラッシングがやりにくい。
・前医への不信、スクリューの緩み。
・抜歯をすえるべきか？このまま使うことができるのか？
・抜歯した。
・「インプラントしかない」と勧められたが、希望せず、当院に来院、当院より口腔外科に画像診断、セカンドオピニオンの結果「インプラント不適応」。
・インプラントが将来もつかどうか。痛み。
・インプラントは行っていない。
・メインテナンスの要望。
・インプラントから膿が出て、動揺している人がいる。
・ぐらぐらして痛い。
・かみあわせが悪く、マージン部がすいた。
・前のＤｒからはインプラントをすれば咬めると言われたが、咬めない。咬むと痛い。
・経過が良くない。
・麻痺。
・インプラントを実施したいが、前医実施のインプラントの予後もみてほしい。
・メインテナンスをしてほしい。

継承について

選択肢を示した設問の最後は「継承について」だった。「子どもが継承」が約３割、「決めてない」が約４割で、「歯科医師にしたくない」が１割ほどあった。

	件数	%
子どもが承継	35	33.3%
歯科医師にしたくない	13	12.4%
きめていない	41	39.0%
その他	14	13.3%
無回答	2	1.9%
計	105	100%

（エ）「その他」で記載ありは次の10名

▽子供は歯科医師にしたが、継承させない。▽継承はしないようです。▽２人の子供は別の職業につくつもりで、子供は継承しない。▽子供は別の職業についた。▽継承者なし（4名）。▽閉院予定。▽継承しない。

他に（ウ）の「継承については決めてない」の欄外の添え書きに、▽子供は他方面へ、歯科医院を継承させるつもりはない。▽後継者を育てる、の記載があった。

自由意見

アンケートの最後の「自由意見」に17名から記載があった。

▽ 未曾有の大震災の影響は東北・関東地方に限らず長野でもでています。歯科保険点数のupは当分期待できないと思います。今の制度、また指導は必要以上に厳しく、今後破綻する歯科医院は沢山出てくる気がします。そうなる前になんとかしたいものです。

▽ 遠隔地で継承させても、発展は望めない。郡市部で過当競争が続き、勝ち組、負け組みに分かれるようになるだろう。

▽ 歯科診療報酬点数は低すぎる。先進10ヵ国でも最低である。例：CR充填、アメリカ25,724円、日本2,851円、約10分の1が日本の点数。ワーキングプアは余りに労働対価が低すぎるから。

▽ 歯科（開業医）が多すぎます。民主党政権になってから、文科省と厚労省との間で申し合わせがちゃんと履行できておらず、今後も2400人もの合格者を出しています。合格基準の引き下げ、入学試験が機能していない歯学部、歯科大学への指導、補助金打ち切りを要望します。

▽ レントゲンをとらないでほしいとの希望が多くなった。

▽ 世の中不景気だと実感。危機感を抱いています。

▽ 国民皆保険であるなら、そしてそれが社会保障であるなら、診療側も受診者も一部負担金や保険証の有無、有効期限等を気にすることなく、しっかり治療が出来る制度にしてほしい。その為には、保険者の統合、納税の公平性や完全把握、その為の国民背番号制など安全性を十分に考慮しながらの合理化は必要です。複雑難解でかつ申請主義の社会保障は社会保障と言えません。

▽ 保険で良い歯科医療を提供することで患者からの信頼を得られ、結果的に自費増や患者増につながることは間違いないと思います。目先の利益にとらわれないことが大切です。

▽ 今の経済状況からして患者さんに力がないので、自費診療は極めて難しい。しかし、高齢社会であるから欠損は多く歯科の需要は多いはず。充分時間をかけ

3面に続く